

2022年5月20日  
株式会社東陽テクニカ

## 「日本地球惑星科学連合 2022 年大会」に出展 ～地球物理学に関する計測ソリューションを展示～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、2022年5月22日(日)からの6日間、幕張メッセで開催される「日本地球惑星科学連合 2022 年大会」に出展いたします(ブース番号：A16)。

「日本地球惑星科学連合大会」は、世界中から地球惑星科学の研究者や学生が集う研究大会で、研究テーマ毎にセッションと呼ばれるプログラムを開催、最先端の研究結果について発表と議論が行われます。

展示会場に出展する東陽テクニカのブースでは、地球物理学に関する、観測に役立つ計測ソリューションとして、高感度広帯域 3 成分地震計や世界最小の LiDAR 雲高計を搭載した気象計などを中心に展示、ご紹介いたします。

### 【 イベント概要 】

- 開催展名：日本地球惑星科学連合 2022 年大会
- 会 期：2022年5月22日(日)～5月27日(金) 各日 10:00～18:30  
※5月29日(日)～6月3日(金)はオンラインポスターセッションを予定
- 場 所：幕張メッセ国際展示場 8 ホール ※ハイブリッド開催
- ブース番号：A16
- 公式サイト：[https://www.jpogu.org/meeting\\_j2022/](https://www.jpogu.org/meeting_j2022/)

### 【 主な展示製品 】

#### ●高感度広帯域 3 成分地震計「3T-120」(Güralp Systems 社製)

120 秒から 50Hz(オプションで 100Hz)の周波数応答ができ、166 秒から 10Hz の高周波制限までの間で NLNM 未満のセルフノイズで測定します。観測杭、ポストホールや極地設置用の微調整オプションの付いたステンレス鋼筐体です。



「3T-120」

#### ●オールインワン小型気象センサシステム「MWS-C600」 (Intellisense Systems 社製)

世界最小の LiDAR 雲高計を搭載したコンパクトでワイヤレスの気象センサパッケージです。温度、気圧、風速/風向、視程の計測に加えて最大 7,620m の雲高が測定可能です。



「MWS-C600」

●コンパクトマルチビーム測深機「Sonic2020」(R2Sonic 社製)

小型・軽量に特化したワイドバンドマルチビーム測深機です。Sonic20xx シリーズの小型版ですが、内部の処理システムは他タイプと同様で、200kHz～450kHz(オプション 700kHz)の周波数をリアルタイムで任意に選択することが可能です。



「Sonic2020」

◆**出展お知らせページ:** <https://www.toyo.co.jp/kaiyo/seminar/detail/JpGU2022>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL : 03-3279-0771(代表)

Email : [marketing\\_pr@toyo.co.jp](mailto:marketing_pr@toyo.co.jp)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。